

まちのたから

発見



桜を照らすあたたかな光

ぼんぼり委員会 (川原)



▲ぼんぼり委員会の皆さん (H26年4月撮影)

わせられ、桜を照らすとともに、足元も明るく見えるようになっています。また、吊す場所は皆さんの意見を聞きながら桜をよりきれいに見られる位置にされています。

ぼんぼり委員会の皆さんは「何をすることも楽しんで」をモットーに自分達が楽しみながらも、毎年よりよいものになるよう工夫をされています。

分の地域に還元したいとの思いを込めています」と話してくださいました。この取り組みが実を結び、今では横山市郎会長を筆頭に仲間とともにぼんぼりを灯しておられます。

ぼんぼり委員会の皆さんが灯すぼんぼりは、桜の見ごろの期間中、午後6時30分から10時ごろまで、訪れる方をあたたかく迎えています。

●訪れる方に最高の桜を

ぼんぼりは、ただ桜に吊しているだけではなく、見る人を思いさまざまな工夫がされています。例えば、吊す高さは、人の目線に合



▲ぼんぼりに照らされた桜並木

いちばら 市原キヨ子さん

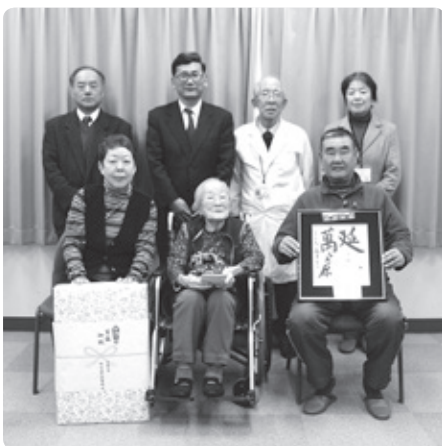
100歳おめでとうございます

2月1日、市原キヨ子さんが100歳のお誕生日を迎えられ、同月の6日に町長をはじめ、関係者がお祝いに伺いました。

市原さんは、戦中満州で暮らしておられ、3人の子どもを連れて日本に帰国されたそうです。約40年前に大阪から湖南サンライズに移り住まれ、当時は家が余り無かった事や日野町の良いところについて話していただきました。

市原さんはとても明るい方で、笑いが絶えず、和やかな雰囲気となりました。

市原さん100歳おめでとうございます。お体を大切に、いつまでもお元気でいてください。



塚本さん、小西さん

みずかがみ食味コンクールで表彰

1月17日(土)近江米振興協会が行われた「みずかがみ」食味コンクールの表彰式で、近江米振興協会長表彰最優秀賞と滋賀県知事表彰最優秀賞を塚本信雄さん(西明寺)が、近江米振興協会長優秀賞と全国農業協同組合中央会長表彰優秀賞を小西正夫さん(西大路1区)が受賞されました。

塚本さんは、コンクールで取り組みの発表をされ「猿など獣害による減収などの苦勞を乗り越え、西明寺地域特有の1日の寒暖の差、きれいな水などが、旨味成分の凝縮したおいしい『みずかがみ』を作りあげたのでは」と話されました。



▲受賞者の皆さん(前列左から2人目が塚本さん、前列一番右が小西さん)